

テーマ：地域資源の掘り起こしと活用 対象：地域住民 主催：北広島町千代田・大朝・豊平・芸北地域づくりセンター

1-⑧ となりの達人に教えてもらおう！

地域を学ぶ	—	地域でつながる	○	地域に還す	○
-------	---	---------	---	-------	---

1 学習プログラムの展開

日程	場所	学習・活動内容 () 内は参加・材料費
平成31年4月23日(火) 10:00~11:30	豊平地域づくりセンター	「包丁の研ぎ方講座」(無料) ○包丁の研ぎ方を学び、自分の包丁を研ぐ。
令和元年5月31日(金) 10:00~11:30	千代田地域づくりセンター	「アロマワックスサシェ作り講座」(600円) ○アロマの効果や効能を学び、サシェを作る。
令和元年6月14日(金) 10:00~11:30	芸北文化ホール (芸北地域づくりセンター)	「ヒンメリ作り講座」(500円) ○地元の藁を使って、多面体の装飾品を作る。
令和元年7月9日(火) 10:00~11:30	大朝地域づくりセンター	「スマホ写真の撮り方講座」(無料) ○スマホを使った写真撮影のポイントを学ぶ。
令和元年8月2日(金) 10:00~11:30	芸北文化ホール (芸北地域づくりセンター)	「カリグラフィー体験講座」(300円) ○手作りケース入りの飾り文字作品を作る。
令和元年9月26日(木) 10:00~11:30	千代田地域づくりセンター	「ハンギングテラリウム講座」(800円) ○多肉植物や石、小物等を飾り、作品を作る。
令和元年10月24日(木) 10:00~11:30	大朝地域づくりセンター	「あみもの講座」(300円) ○かぎ針を使った基本的な編み方を学ぶ。
令和元年11月15日(金) 10:00~13:00	千代田地域づくりセンター	「料理講座 絵本 de クッキング」(500円) ○絵本に出ている料理を作り、交流する。
令和元年12月12日(木) 10:00~11:30		「ガトーショコラ作り講座」(500円) ○お菓子作りのコツを学び、スイーツを作る。
令和2年1月23日(木) 10:00~11:30	大朝地域づくりセンター	「手作りこんにやく講座」(300円) ○地元産の素材を使い、こんにやくを作る。
令和2年2月14日(金) 10:00~11:30	豊平地域づくりセンター	「みそ作り講座」(1,500円) ○発酵の過程を学びながら味噌を仕込む。
令和2年3月18日(水) 10:00~11:30		「紙芝居作り講座」(300円) ○イラストを描き、手作りの紙芝居を作る。



対象	地域住民 (他市町からの参加申込も可)
経費	講師料 (5,000円 ※交通費含む), 託児謝金 (必要に応じて) その他, 参加費・材料費等が必要な場合はその都度徴収
連携先	北広島町千代田・大朝・豊平・芸北地域づくりセンター, 講師 (地域住民)

問合せ先	北広島町千代田地域づくりセンター 〒731-1533 山県郡北広島町有田 1220 電話: 050-5812-2249	北広島町大朝地域づくりセンター 〒731-2195 山県郡北広島町大朝 2493 電話: 050-5812-3025	北広島町豊平地域づくりセンター 〒731-1711 山県郡北広島町戸谷 1113 電話: 050-5812-4020	北広島町芸北地域づくりセンター 〒731-2323 山県郡北広島町川小田 10075-54 電話: 050-5812-2070
------	--	---	---	--

2 事業設定の理由（事業の目的）

- 地域住民が講師となって自分の特技や趣味を生かし、その技を披露したり伝授したりする場を設けることで、町内4地域の住民同士の交流を図り、ネットワークを構築する。
- 町内4地域づくりセンターが協働して事業を行うことで、地域住民の学びの場づくりや人材・素材の発掘を共有し、効率的な生涯学習・社会教育の振興に寄与する。

3 事業目標

- 自分がこれまでに学んできた知識や技術を地域住民に向けて提供したり、披露したりすることができる。
- 講師の知識や技術から学び合い、多世代や他地域の住民と学びを通じた交流・体験を通してネットワークづくりにつなげる。

4 事前に必要な知識や準備物

- 講師や参加者情報を整理し、年度末に成果と課題を踏まえて年間事業計画を策定し、講師の選定や内容について方向性を確認する。
- 町内の4地域づくりセンターで定期的にミーティングを行い、講師の選定状況や事業内容について連携・確認する。

5 留意点

- 講師選定にあたっては、事業の趣旨（ボランティア的要素が強いこと等）を伝える。
- 毎回託児コーナーを設け、子供連れの保護者が参加しやすい体制を整える。
- 参加者（申込）は、近隣市町等の町外からも可とする。
- 4地域づくりセンターから相互に職員を派遣し、事業の管理・運営にあたる。

6 成果

- 老若男女を問わず、多世代の住民同士が他地域の人や物、資源を知り、交流できた。
- 講師に選ばれることで、地域振興への意欲が向上するとともに、事業に対する意見やアイデアがたくさん聞かれるようになった。
- 町内4地域づくりセンターが協働することで、効率的な事業運営を行うことができた。

7 課題

- 地域住民の中から、講師となる人材を幅広く発掘していく必要がある。
- 地域の課題と住民のニーズの双方を組み合わせ、且つ住民が参加してみたいと思える魅力的な講座を企画すると共に、学んだことを生かし還元する場の充実を図る。
- 町内の全住民に向けて事業を周知するための、多様な広報活動の在り方を検討する。

8 今後に向けて

- チラシだけでなく、町広報紙やケーブルテレビの活用も検討し、多様な手段で広く事業の広報活動を行う。
- 地域の課題と住民のニーズを整理し、双方の課題解決に向けた講師の選定や各回の事業内容について検討し、計画を立てる。
- 講座に参加した住民同士のネットワークを構築し、新たな事業展開へつなげていく。